

くめじま

議会だより

2018.3.1

No.63



「ヤングフェスティバルの琉球民謡」
古堅宗順民謡研究所(子ども会)

議会の傍聴へ行こう

次回定例会は
3月8日(木) 開会予定

3月8日(木)は、町長の施政方針、議案審議行い、
一般質問は、3月19日(月)、20日(火)に予定しています。

本会議では、町民生活に関わるさまざまな決まりごとや問題について、審議が行われます。また、
一般質問では、町長の考えを聞くことができます。

多くの方の傍聴をお待ちしております。

仲里庁舎1階にて
一般質問の様子を
テレビモニターで
ご覧いただけます。

12月定例会

平成28年度 特別会計決算	2~3 P
決算審査報告	4 P
12月定例会で決まったこと	5 P
臨時会で決まったこと・編集後記	5 P
町政を問う 一般質問	6~15 P
島内現場視察	16 P

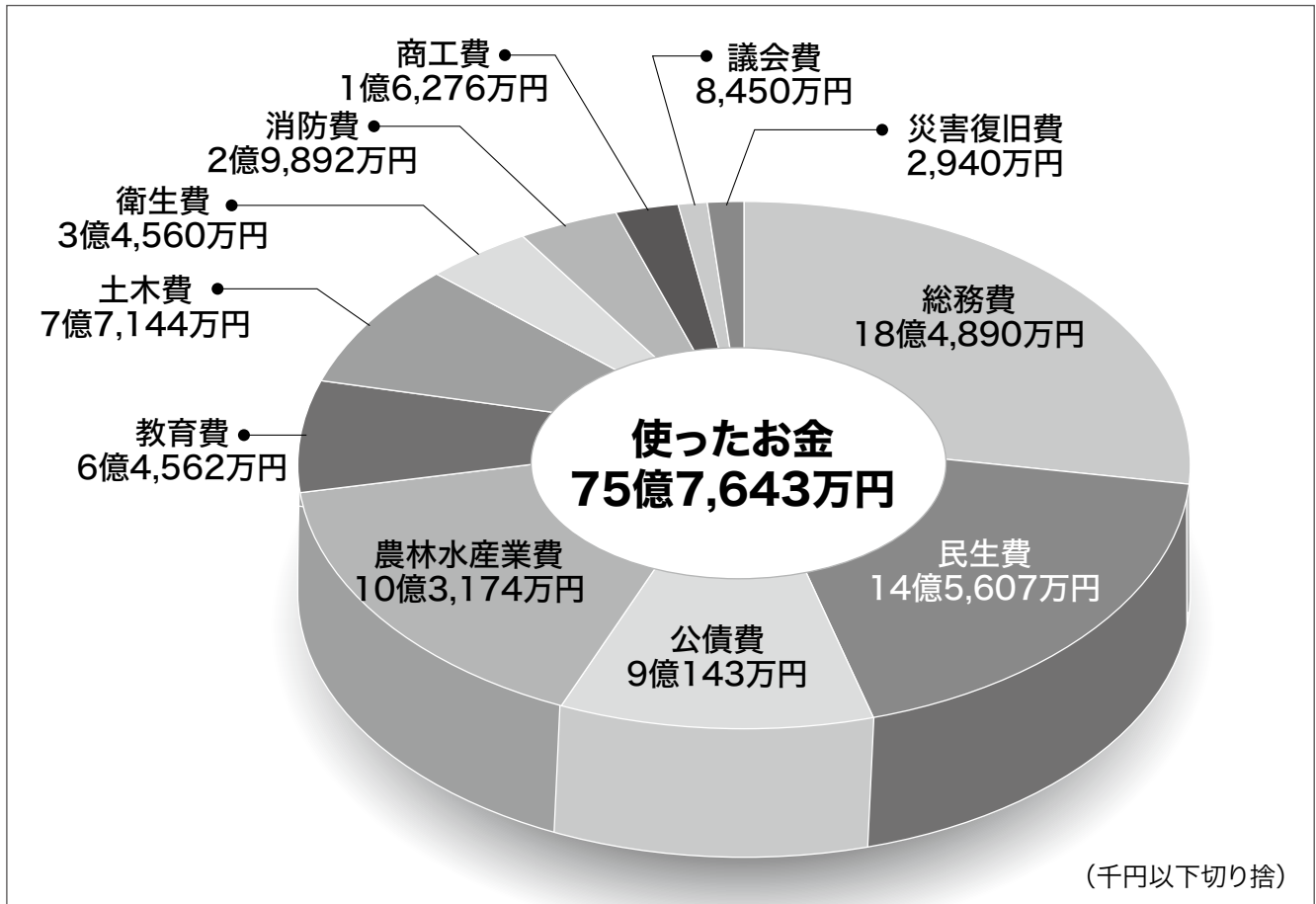
久米島の人口・世帯数(2017年12月末現在)

男:4,245人 世帯数:3,995世帯
女:3,749人
計:7,994人

決算認定

歳入 79億円
歳出 75億円

定例会(第11回)で28年度一般会計、決算が全会一致で認定されました。



平成28年度 特別会計決算

(単位:千円以下切り捨)

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険特別会計	14億3765万	14億1925万
後期高齢者医療特別会計	7634万	7443万
下水道事業会計	3億1390万	2億7841万
水道事業特別会計	収益的収支	2億5334万
	資本的収支	0万
		2億0861万
		6318万

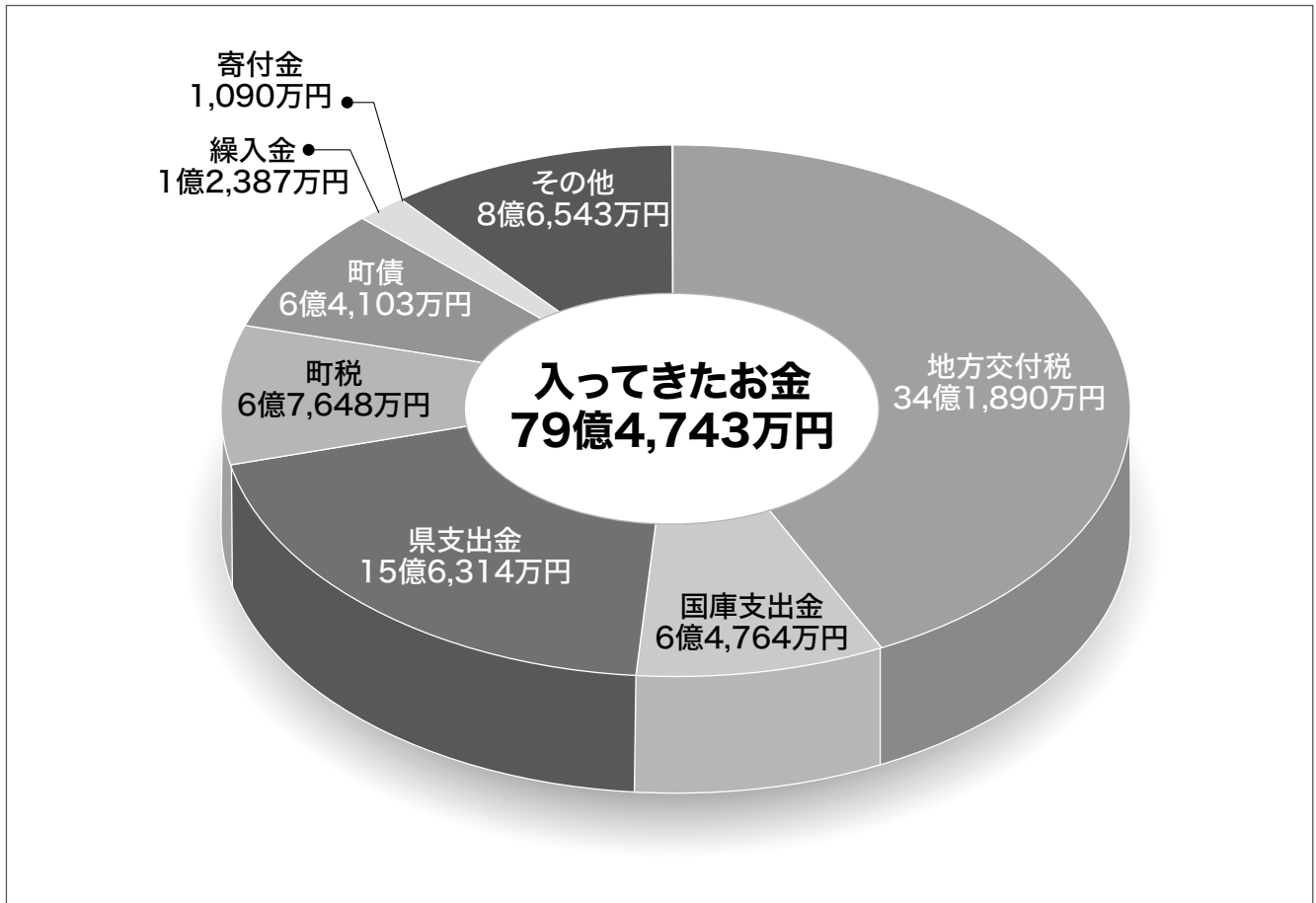
※水道事業特別会計の資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資本金で補てん

実質収支に関する調書

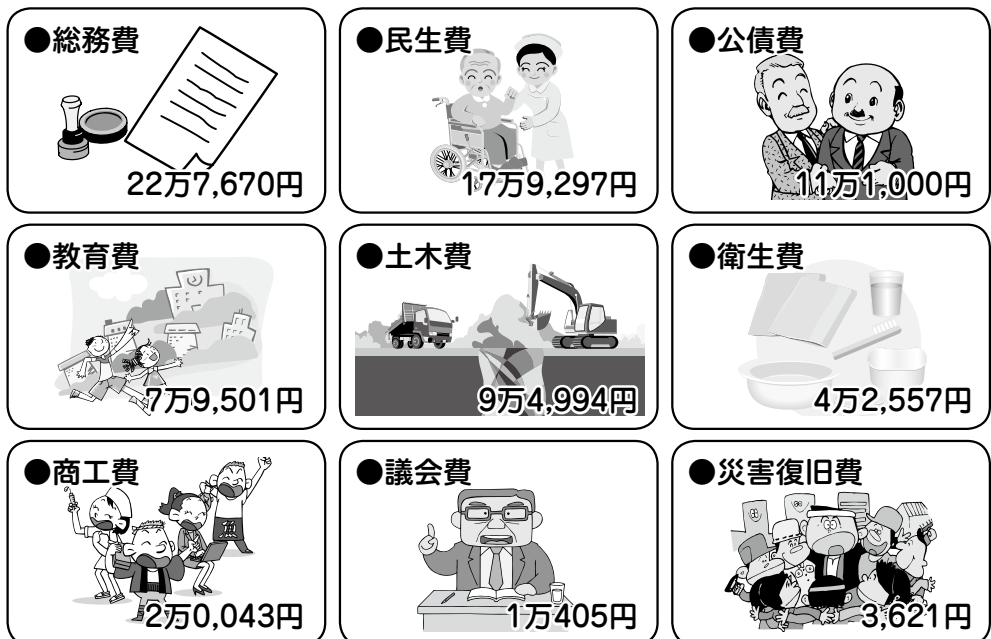
区分	金額
歳入総額	79億4,743万円
歳出総額	75億7,643万円
歳入歳出差引額	3億7,099万円
翌年度へ繰り越すべき財源 (繰越明許費繰越額)	2,775万円
実質収支額	3億4,323万円

平成28年度 一般会計

平成29年9月定例会(第7回)で28年度特別会計(4会計)、29年12月



町民1人あたり
1年間で
使われたお金



決算審査報告

決算審査は、議長を除く13人の委員（議員）で構成された特別委員会を設置し、9月20日（水）、21日（木）及び12月15日（金）、18日（月）の4日間にて審議しました。審査の中から主な質疑内容を報告します。

一般会計

問 町営住宅の滞納繰越分の収入未済額について、その状況と連帯保証人はどうなっているか。

答 平成28年度におきまして、担当職員の滞納請求手続きがなされていない事が原因で、滞納督促業務が滞ってしまいました。ご指摘の通り、滞納分の収納につきましては今後数値目標を立てて、対処して参ります。また、連帯保証人の制度につきましては、今後、契約の際には、民間の契約等を参考にして、制度の見直しも含め検討して参ります。

問 昨年から18才・19才に選挙権が与えられている。衆議院選挙における本町の18才・19才の投票率はどのようになっているか。

答 町衆議院選挙における、18才・19才の有権者は、143人で投票率は30.77%で、18才は40.26%、19才の投票率は19.7%となっております。外にいる学生が大半を占めていることもあり、投票率がかなり低い状況でした。今後は、島外の学生へ対応策については不在者投票の周知、若年層の投票率向上については青年団協議会ともタイアップしながら取り組んでいきます。

問 決算額の中で、全体的に不用額がかなり多いがその原因について

答 不用額につきましては、補正予算において適切に減額していないため、できる限り補正で減額するなど予算執行状況の管理を徹底していく必要がある。また、予算要求の段階で、前年度の予算額で要求している現状があり、今年の予算要求においては、前年度決算をベースにして平成29年度執行状況を勘案し予算編成をします。

問 風の帰る森事業の完成予定など、今後の工程はどのようになっているか。

答 現地工事を発注していて、現場の敷地内に岩が多く出てきている状況にあります。平成30年5月に完成予定に向けて現場と調整しながら進めてまいります。

問 実質収支に関する調書で、横領事件による現金不足額については今後どのような取扱いになるか。

答 今後、実質収支に関する調書に横領事件による現金不足として記載し、横領額の全額が確定の際には議会の議決を経て、町民に対しても説明できるようになかとちで、弁

済金として予算に計上します。

特別会計

●水道事業会計

問 水道料金の未徴収で、大口未徴収分について、今後どのように回収していくのか。

答 未納者に対しては、督促状を2回送付した後に応じない場合は給水停止通知を送付し10日後に納付についての相談などにも応じない場合は、水を止める方針である。また、大口滞納者については、分割納付などの相談をしながら徴収に努めています。

●下水道事業会計

問 下水道の普及率について。

答 現在の普及率は（62%）で、この比率は、下水道工事が完了している地区の接続率です。

●国民健康保険会計

問 特定健診の受診率の速報値（46.7%）となっているが、経年的

な受診率はどのようになっているか。
答 平成25・26年度の受診率（49%）で、平成27年度は（43.5%）、平成28年度（46.4%）となっている。今後は受診率の向上に向けて強化していきます。

●後期高齢者医療会計

問 本町の後期高齢者の人数と人口に対しての割合について、また、年々増加しているのか、減少しているのか。

答 平成27・28年度3月末（人数が1284人、割合が15.9%）となっており、ほぼ横ばい状態であり

基金（資金積立）残高

基金名	残高
財政調整基金	16億7473万円
地域振興基金	10億5430万円
減債基金	5945万円
地域福祉基金	5513万円
土地開発基金	1億8221万円
中山間ふるさと基金	1875万円
庁舎等新改築基金	5億3429万円
国保保険給付準備基金	2405万円
環境保全基金	91万円
ふるさと納税基金	2279万円
地域雇用創出基金	0万円
前村幸秀人材育成基金	1億7901万円
九条交付金事業基金	8336万円
風の帰る森プロジェクト応援基金	2億8487万円
美ら海環境基金	127万円

平成29年12月(第11回)定例会は、12月12日から22日までの11日間の日程で行われました。定例会では、議案5件、認定1件、決議2件、意見書2件を審議し、すべて原案どおり可決・認定・採択しました。13日、14日の一般質問では、10人が登壇し、活発な審議が行われました。

平成28年度決算 ※全員賛成

- 一般会計歳入・歳出決算
(詳しい内容を2～3ページに掲載)

平成29年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算(9号)
82億9696万円(4055万円減)
- 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
15億1344万円(増減なし)
- 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
7774万円(5万円増)
- 水道事業会計補正予算(第1号)

12月定例会で決まったこと

契 約

- 動産の買入(久米島火葬場・葬祭場備品)

契約の方法 指名競争入札
 契約金額 1251万円
 契約の相手方 有限会社 真 栄 堂

議員提出 ※全員賛成

- 在沖米海兵隊による飲酒運転死亡事故に関する意見書、抗議決議書
- CH53E大型輸送ヘリコプター窓落下事故に関する意見書、抗議決議書

第10回臨時会で決まったこと

平成29年11月(第10回)臨時会は、11月15日に行われました。臨時会では、議案1件を審議し、原案どおり可決しました。

契 約 ※全員賛成

- 動産の買入(久米島町消防本部大型水槽車)
 契約の方法 指名競争入札
 契約金額 6588万円
 契約の相手方 株式会社 消防防災沖縄営業所

編 集 後 記

平成29年沖繩の農業総生産額が1000億を超えた。キビの豊作、各地の競り市場での子牛の高額取り引き、そして、他の農作物も延びている農業所得の伸びが、沖縄が日本一であった。

本町も、他の市町村に、取り残されないように、町の各産業に対して支援をしてほしい。話しは変わるが、大田町長は、2期目の出馬表明をしている。

政策として、6本の柱も掲げている。政策をしっかりと進め、よりよい久米島町に。

広報委員

吉 饒 崎 翁 仲
 平 名 村 長 村
 智 正 昌
 浩 弘 明 学 慧

(翁長)

質問と答弁の内容を要約して掲載しています。
※ここでは年号(平成)を省略しております。



吉永 浩 議員

問 生活コスト低減を

答 分析し検討したい

吉永 離島の割高な生活コストを低減する必要性があるのでは。

町長 物価が高い事の認識はあるが、物流量を考えると予算負担が大きい。

吉永 沖繩本島と比較した本町の物価状況は。

町長 生活必需品の小売価格は27年度調査で沖繩本島を100とした物価指数から18.4%高い。

吉永 平均所得の低い本町では、対象品目を絞るなどとして、一括交付金を活用した輸送補助を行い、輸送費が転嫁された物価を低減することが豊かな島づくりに繋がるのでは。

町長 分析し前向きに検討したい。

問 ファミリーサポートセンターは

答 30年度予算計上調整

吉永 子育てを地域相互で援助するファミサポの早急な立

ち上げが必要では。

福祉課長 実現に向け制度設計を行った後、30年度予算に計上する調整を行う。

問 介護人材の育成、確保策を

答 福祉基金を活用したい

吉永 介護人材不足への対応策は。

福祉課長 島内で育成するため福祉基金等の活用を検討。

吉永 地域全体の課題である。福祉基金の活用可能性は。

副町長 人材育成に関しては十分可能。

問 人材活用センターの進捗は

答 目処は立っていない

吉永 女性と高齢者を活躍させる仕組みが重要。進捗は。

町長 基礎調査業務を実施。

必要性は確認できたが、採算性など課題も。目処は立っていない。

問 外来種の持込対策は

答 条例等の対策が必要

吉永 外来種対策をどう考えるか。

教育長 むやみに持ち込まない、野外に捨てない、他の地域に広げないの3原則を守り、町民を巻き込んだ監視体制の構築が必要。

吉永 人間の都合で人為的に動植物移動させる。具体策は。

博物館長 町民へ普及啓蒙や条例等で持込対策と固有種保護を検討したい。





盛本 實 議員

問 観光振興地域内の 景観形成を

答 観光リゾートビジョンを
策定し取り組む

盛本 イーフ地区一帯は本町において観光地として最も有名な地域であり、沖縄県による「観光振興地域」としての指定、また久米島町景観条例の中では「景観形成重点地区」として指定しているが一部において観光地としてふさわしくない景観が見られるため早急な対策を。

町長 土地所有者の理解、協力を仰ぎながら観光地にふさわしい景観形成を目指して取り組んで行く。

盛本 具体的な対策については。

商工観光課長 今年度久米島町の観光リゾートに関する将来ビジョンを策定し対応していく。

問 民間活力を促す
施設の活用

答 行政・民間連携
での取り組み

盛本 農林水産業の活性化を目的として水産加工施設、か



水産業活性化を目的とした水産加工施設

んしょ加工施設、山羊舎の整備を行ってきたが運営状況は。
町長 それぞれの運営団体については鋭意努力をしているものの黒字又は赤字等が出ているのは確かである。今後は行政側と運営側との連携を図りながら事業目的である生産農家の所得拡大に向けて取り組みを強化していく。

問 第2次総合計画の
取組は

答 「総合計画推進委員
会」の設置

盛本 第2次総合計画が28年度からスタートを切ったが現在の進捗状況は、また「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との整合性は。

町長 総合計画をより効果的に取り組むために、「総合計画推進委員会」を設置し、町民との協働による計画推進に努める。また、30年度より基本構想と関連つけた予算編成に取り組む。

盛本 総合計画と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との整合性は。

企画財政課長 双方の整合性を図り取り組んでいる。

問 技術職の採用は

答 一年を通して議論する



玉城 安雄 議員

玉城 町長はどのような基準で人事異動にあたっているか。

町長 基本的に3年をめどに行い、異動の際業務に支障がないよう事務分掌も課内で進めている。

玉城 基本3年での異動だが、3年を超えている職員もいるが。

町長 その年の退職者の数によって変動もあるが、適材適所ということであってそうになっている。

玉城 本町には技術職（建築、土木関係）の採用がないが、採用については。

副町長 機構改革も含め技術職が必要か1年を通して議論していく。

問 成年後見人制度の充実を

答 法人後見人制度を整備していく

玉城 認知症の高齢者や一人

暮らしの高齢者の増加に伴い、成年後見人制度の必要性が高まっているが本町の取り組みは。

町長 本町の現状は司法書士の方が町長申立で行っている。今後増えることが予想されることから、社協において法人後見人の選任等の整備をする。

玉城 現在の実態はどうか。

福祉課長 町長申し立てが3人、社協での支援事業で8名、補佐が3名、今後成年後見人制度に移行することが望ましい方が18名いる。

玉城 今後、介護サービス等の手続きを本人に代わって行ったり、金銭の管理などを必要とする高齢者が増えてくる。成年後見人制度の充実を望む。

町長 新たに行政書士の組織もあるので法人後見制度とバランスよく考えていく。

問 公営住宅の新設は

答 新規建設は厳しい

玉城 安価で賃貸できる公営住宅への期待は大きい、現在の棟数、戸数はどうなっているか。

町長 12棟で44戸ある、42戸が入居済みで2戸があいている状態である。

玉城 入居待機者はどうなっているか。

総務課長 現在7名で、空き家の2戸で入居調整している。

玉城 公営住宅の新設については。

総務課長 新規に建設することとは厳しい。民間のあいっているアパートを棟ごと借り上げるのが現実的ではないかと考える。



平良 弘光 議員

問 期日前投票所を具志川庁舎に

答 今後協議させたい

平良 期日前投票所を具志川

庁舎設置については、予算のことなどが有り、確かにすぐ対応することは難しいと思う。

最近投票率を上げるために、全国で商業施設などに投票所を設けるなどいろんな工夫がされている。ぜひ実現に向けて取り組んでもらいたい。

町長 現在路線バスを無料にするなど策を取っているのですが、もう少し選挙管理委員会と担当課を含めて協議させたい。

問 島内記録を参考に

答 久米島地区中体連で協議する

平良 今年度、本町の中学生が天候不良によって、地区予選に出場することができなかつたため、県大会への派遣ができなかった。今後、島内記録会の記録を参考にして派遣

することができないか行政側からも要請することができないか。

教育長 島内の記録を配慮し代表にできるかについては、那覇地区中体連では判断が難しいとの回答である。今後久米島中体連と「久米島地区記録会」の記録を参考に派遣が可能かについて協議する。

問 集落外作業を

答 作業班で対応する

平良 現在、比屋定集落が行っている(県道から宇江城城跡への一部)環境保全課の作業班で草刈り作業をすることができないか。

町長 宇江城城跡への観光客のタクシー等が頻繁に往来する箇所も定期的な除草の必要性を感じ、作業班の業務量を確認し実施する。

問 航空自衛隊

(山田原)の投票所

答 可能性を検討する

平良 航空自衛隊山田原の行政区が宇江城となっているため、選挙の投票所が遠距離にある宇江城地区会館での投票になっている。これを直近にある具志川改善センターに投票所を変更することは出来ないか。

総務課長 山田原は行政区が独立しているため、これを具志川改善センターなどに指定できるかということは今後、公職選挙法等の制度を調査した上で可能性について検討していく。

他にもこんな質問

問 比屋定、島尻地区の自主防災会の車庫について



赤嶺 秀徳 議員

問 航空運賃低減に向けたダブルトラックは

答 認知度向上を図っている

赤嶺 航空運賃低減に向けたダブルトラックの進捗状況は。

町長 空港利用者の拡大と観光誘客を図り、認知度向上に向けたプロモーションを行っている。

赤嶺 観光誘客、利用実績は向上したか。

町長 実績は向上しているが、他航空会社を誘致できる状態ではない。

問 町営バスの状況は

答 適性運行を行っている

赤嶺 町営バスの運行システムと乗務員の健康管理は。

町長 乗務員六名、車両五台で五路線運行し、乗務員は毎朝健康チェックを行っている。

問 儀間漁港の拡張整備は

答 整備を考えている

赤嶺 儀間漁港は、漁船の大型化に伴い、係留場所と陸上部が超過密であり拡張整備計画はないか。

町長 漁村再生整備交付金整備事業等、補助事業の内容等を県と調整しながら進める。



漁船の大型化で超過密化する儀間漁港

問 小中学校の冷房設置は

答 設置に向けヒアリングを実施

赤嶺 小中学校の普通教室への冷房設備は可能か。

教育長 県に問い合わせを行ない、補助事業の対象見込みで一月にヒアリング予定。

問 町有地売却は

答 公有財産管理運用委員会決定

赤嶺 集落内外を問わず町有地等の売却についての考えは。

町長 関係法令、周辺住民、隣接地主等確認して公有財産管理運用委員会の審議で決定。

問 各区長等の要望陳情は

答 町長まで回覧

赤嶺 各区長等からの要望陳情の対処は。

町長 要望陳情書は、総務課から各課へ送り町長が回覧して進捗状況を把握。



仲村 昌慧 議員

問 記念大会をどう盛り上げるか

答 大会企画に早期に取り組む

仲村 久米島マラソンは今年、30回大会の節目の大会になる。記念すべき大会をどのように盛り上げるか、その取り組みを伺う。

町長 30年度の記念大会は、注目度がさらに高くなることも予測されることから、大会企画については早期に取り組む。

仲村 久米島マラソンは過去に、4年連続で「全国ランニング100選」に選ばれたこともあり評価は高いが、最近は参加人数が1,300人台で推移している。受入れ可能人数は2,000人まで可能と聞いているが、参加人数を増やす考えはないか。

町長 毎年、参加募集と同時に飛行機及び宿泊の予約で満杯となり、参加者が頭打ち状態となっていることが課題である。その対策として、ホテルの大部屋の活用や民宿等も取り入れてきたが、現在もなお解消されていない。他の大会における事例を調査し、公施設等の活用についても検討する。

問 クメノサクラの管理は

答 専門家に依頼

仲村 クメノサクラについては、球美の島緑化推進事業で26年度に431本植えたが、現在活着しているのは何本か。年間の管理はどのように行われているか。

町長 今年の干ばつにより枯れたのが多数あり261本が活着している。今年度60本の補植を行う。現在は桜に詳しい方に管理してもらっている。

仲村 枯れた物に対しての保証を業者に求めたか。
建設課長 業者との協議はされていない。

問 具志川漁港の進捗状況は

答 船揚場を整備し対応

仲村 具志川漁港については、「具志川漁港だけの単独では整備できないので、鳥島漁港の（具志川地区）で整備でき

ないか検討し調整している。」とのことであるが、進捗状況を伺う。

町長 県との協議で鳥島漁港の具志川地区として再編することで進めている。そのためには利用状況等の実績を上げる必要がある。現状のままでは実績を上げられる状態ではないので、船揚場を整備し対応したい。



未整備な具志川漁港



崎村 正明 議員

問 福祉行政に問う

答 実態調査を検討したい

崎村 厚生労働省の定義では、社会参加を回避し6カ月以上自宅にとどまり続けている人のことをひきこもりと言おうのだが、仕事や学校に行かず家族以外とほとんど交流しない、ひきこもりについて本町は実態把握できているか。

町長 現状では、実態把握は出来ていない。

崎村 調査する考えはないのか。

福祉課長 精神保健福祉士等で検討したい。

崎村 ひきこもりの実態を把握するには、戸別訪問しかないと思うが、相手のペースに合わせながらゆっくり丁寧に焦らず心に寄り添った支援経済的弱者の底辺を上げる支援が必要ではないか。

町長 専門員と一緒に支援したい。

問 歩道の整備は

答 地主と再協議したい

崎村 嘉手苅地内の県道において当初から歩道がない箇所があり見通しが悪く歩行者の安全対策としても歩道を整備する考えはないか。

町長 県と調整した結果、地主の同意を添えて申請したら整備の方向で調整したい旨の回答が得られたので、地主と協議したい。

問 バス停の整備は

答 県へ要望したい

崎村 高校前バス停には、具志川方面から来るバス停にはバスの引き込み及び横断歩道が無い為、交通量の多い時間に片側通行となり車道にて乗降している状況にあり事故未然防止策として、引き込みの

あるバス停と、横断歩道を整備する考えはないか。

建設課長 非常に必要だと思う。県道の管理者に要望したい。

崎村 バス停から消防署までの区間、一部は歩道に木の枝がはみ出し、雑草が伸び放題の為早急に対応すべきではないか。

建設課長 早速実施に向けて指示したい。

問 事故対策は

答 検討したい

崎村 儀間の沖縄電力とクボタ営業所間の交差点で事故が多い為に事故未然防止策が必要だと思いませんか。

町長 関係機関と調整の上、検討したい。



喜久里 猛 議員

問 久米島未来計画の現状は

答 関係機関と連携し、
今後とも要望する

喜久里 高速船導入・クルーズ船入港は実現できるか。

町長 制度創設を国・県など関係機関と連携し働きかける。

喜久里 海洋深層水取水管の増設は。

町長 中長期的に需要が見込まれると報告で一步前進だが、今後とも関係機関に強く働きかける。

喜久里 兼城ターミナルは何年着工か。

町長 30年度に着工予定である。

問 兼城久保田農道線は

答 別事業で可能

喜久里 兼城久保田農道線を整備が可能なメニューは現在も無いのか。

町長 農道単独での整備事業メニューはなく、「農地耕作条

件改善事業」であれば可能である。

問 ハーベスター・ビレットプラントー導入を

答 導入可能

喜久里 ハーベスター・ビレットプラントーの導入が、久米島だけがまだ十分されていない。

町長 ハーベスター導入希望の農業生産法人は10団体、ビレットプラントーの導入も可能となっている。

喜久里 久米島はハーベスターの普及率が低いので、重点的にやると、話していたが実際は、沖縄に3台で、その中で久米島が1台入ってくるのか。県とのヒアリング、来年度に向けて10台目標のヒアリングは済んだか。



1月9日に国・県による納品検査が行われた1台

産業振興課長 10台を久米島に要望しますというヒアリングは終わっている。ハーベスターが1台は確実に入る。



棚原 哲也 議員

問 海洋深層水取水施設増設の認可の可能性は

答 可能性調査が実施され
一歩前進

棚原 海洋深層水取水施設の増設及び再生エネルギーとしての温度差発電施設の設置を国へ要請中だと思いが認可の可能性はあるのか。

町長 久米島海洋深層水活用複合利用の可能性調査が実施され一歩前進しており引き続き国、県の関係機関へ強く働きかける。

棚原 関係機関にどのような取り組みを行ってきたか。

プロジェクト推進課長 取水施設の増設に関する要望を行っており、国が独自に海洋深層水に関する可能性調査を実施、採算性、経済効果は十分見込めるとの報告をまとめ、事業実施の判断材料が揃い一歩前進したと考える。

棚原 関係省庁からなんらかの回答があったのか。

プロジェクト推進課長 国は事業主体にはならないということで課題は残っている。

棚原 緑の分権改革推進事業で電力供給のグリーン化への貢献期待との構想も載っている。早期に十倍の取水施設発電施設導入し先駆的な久米島として努力してもらいたい。

町長 島の将来の産業に欠かせないものであり強力な要請をしながら推進していきたい。

問 資機材収納倉庫の設置場所は

答 地域と協議

棚原 防災資機材収納倉庫の設置場所では低いと思われる場所は。

総務課長 美崎地区、仲里地区でその2つの倉庫については5m以上の津波が到達した場合には使用できなくなる可能性もある。

棚原 防災倉庫は通常の台風の時の後片付けに使うからというのではなく大規模災害を想



海拔の低い場所にある防災倉庫

定し設置場所については行政が主導し進めるべきだ。

総務課長 行政指導でということであるが、現在は地域に任せるといった形で設置している。

棚原 管理については地域任せられていると思うが設置場所については行政でやったほうがいいと思いいこれを要望する。



安村 達明 議員

問 謝名堂川と二号線の整備は

答 浚渫及び防犯灯設置可能



雑草が繁茂し水の流れが悪い謝名堂川

安村 謝名堂川は雑草の繁茂等により、水の流れが悪く、衛生面からも問題だが、町の見解は。

町長 県南部土木事務所は浚渫する旨の回答をしているが、島内業者だけの指名競争入札を実施したが入札不調で終わっており検討中で、謝名堂二号線防犯灯については、整備区域に含まれており、今年度中に完了予定である。

問 すぐやる「室」を

答 設置の必要性について検討

安村 役所仕事はデスクワークが中心になるのは当然だがそれでは肝心な住民サービスは期待できない。我町でもすぐやる室を設置し、住民や障がい者の要望に対応したらどうか、町の見解は。

町長 すぐやる室については、組織改編や機構改革の中で設置の必要性に向けて検討する。

問 小・中学生の熱中症対策は

答 早期実現に努力する

安村 小・中学校の熱中症問題について、二年前から話があった。授業中あまりの暑さで集中力が落ち、学力向上に繋がらないとのこと町の見解は。

教育長 冷房設置については、すぐやるべきだと思う。一月にヒアリングを行った後、事業申

請をし、早期実現に努力する。

町長 町の財政としても裏負担を確保できるよう全面的に検討を進める。

問 道路整備は(真謝)

答 割当内示額の問題、企画財政課と調整

安村 真謝クシ原の整備については割当内示額によって工事着手次期が変動する旨の答弁だが対応は。

町長 今年度同様、国からの交付金が削減されれば市町村の要望が百パーセント補えないことになり事業工期の延長も考えられる。

安村 真謝マンドウ原については採択できなかったとのことだが、最近のマンドウ原の状態は惨憺たる状況だが、町の見解は。

町長 現場を確認したところ、凸凹が激しく、車の通行が厳しい状況である。企画財政課と調整して対応する。

島内現場視察

12月5日(火) 全員協議会終了後、全議員で島内現場の視察を行った。火葬場・葬祭場施設整備事業、久米島縦断線道路整備事業、大原下線整備事業、子育て支援事業(ふれあい公園遊具)、水産物供給基盤機能保全事業(儀間漁港防波堤)、久米島射爆撃場関連公共施設(教育文化施設：比嘉公民館建築工事)6カ所を視察した。工事の進捗状況や、問題点を確認した。



火葬場・葬祭場施設整備事業



子育て支援事業
(ふれあい公園遊具)



久米島縦断線道路整備事業



水産物供給基盤機能保全事業
(儀間漁港防波堤)



大原下線整備事業



久米島射爆撃場関連公共施設
(教育文化施設：比嘉公民館建築工事)